

平成25年11月27日

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設
第28回「季例会・公開講演会」の開催について

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設では、第28回「季例会・公開講演会」を下記のとおり開催いたします。

今回は、本学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所で宮島における植物や動物の生態について観察してきた坪田博美准教授が、自然科学の専門の立場から、宮島の自然、特に植生について、その現状と課題を植物学・生態学的な観点からお話しいたします。

記

- 【日時】 平成25年12月2日（月） 13:30～15:30
- 【場所】 広島大学東広島キャンパス 大学院文学研究科 B104 講義室
- 【講師】 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所
准教授 坪田 博美
- 【演題】 宮島の自然－その現状と課題－
- 【申し込み】 不要
- 【参加費】 無料

【お問い合わせ先】

広島大学大学院文学研究科 教授 本多 博之
TEL:082-424-6639 FAX:082-424-6643
Email: honda@hiroshima-u.ac.jp



内海文化研究施設

第28回 季例会・公開講演会

宮島の自然—その現状と課題—

平成25年

日時：12月2日 月 13:30～15:30

無料

場所：文学研究科
B104 講義室

講師：広島大学大学院理学研究科附属
宮島自然植物実験所准教授
坪田博美氏

【概要】宮島（厳島、広島県廿日市市）は日本三景の一つとして知られ、人類と自然の共存が評価されて1996年に世界遺産として登録された。しかしながら、宮島に関する一般的な理解では、植生に対するシカの影響やミヤジマトンボ、アオサの話だけが取り上げられ、問題の背景にある本質的な部分については十分に理解されているとは言い難い。本発表では、宮島の自然とくに植生について、その現状と課題を植物学・生態学的な観点から述べたい。